

姫路獨協大学 同窓会報

Himeji Dokkyo University Alumni Association

2022.5.1. Vol.39

2022年度
第26回同窓会総会

6月26日(日) 11:00開始
姫路獨協大学講義棟205B教室



姫路獨協大学同窓会 こま 獨楽会

〒670-8524 姫路市上大野7-2-1

TEL&FAX: 079-223-9263 E-mail: honbu@hdud.gr.jp

URL: <https://www.hdud.gr.jp>



獨楽会 Facebook

《 コロナ禍に負けず、頑張っています 》

獨楽会会員の皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの感染が日本で初めて確認されてから2年以上が経過しました。その間、目に見えないウイルスの脅威と闘いながら、様々な制限を強いられた日々をお過ごしの方も大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。大変な病と対峙なさっている方々に、心からお見舞い申し上げます。また、医療関係者の皆様・看病や介護をなさっている方々に感謝の意を表します。

外出の自粛・休業・時差出勤・在宅勤務・リモートワーク・WEB会議等、多様な働き方が求められて来たように、後輩達も色々と工夫しながらコロナ禍に負けず努力し頑張っ大学を送っています。

ほんの一例ですが、後輩達がコロナ禍の学生生活(授業・課外活動・アルバイト等)を語ってくれましたので、御紹介致します。

医療保健学部3年次生：堀内梨乃さん



私の大学生活は、コロナ禍真っ只中で大学に登校する事が出来ず、ものすごく心細い中から始まりました。オンライン授業により、パソコンの画面越しで会う友達との

関係構築に一番悩みました。

この悩みを解消する為にどうすれば良いのかを考えた結果、「自ら挑戦し行動を起こさなければ現状からは何も変わらない」との思いに至り、大学で募集されていたオープンキャンパススタッフという新たなコミュニティに飛び込む事にしました。新たなコミュニティに参加するという行動の結果、他学

科・他学年の人達と交流を持つ事が出来、一番の悩みが解消されました。

普通に授業があり毎日友達に会える大学生活が送れていたら、と考える事もあります。ですが、コロナ禍のあの時に一歩踏み出せたからこそ「行動力」「積極性」「コミュニケーション能力」を身に付ける事が出来たと思います。

私が目指す言語聴覚士という職では、様々な人とコミュニケーションを取り、信頼関係を構築する事が重要となります。勉強量に圧倒され悩む事もありますが、コロナ禍だから成長出来た事を言語聴覚士として働く時の強みになると信じ、今後の学生生活や勉強の励みとして頑張っていきたいと思っています。

人間社会学群4年次生：鈴木宏都さん

現在、学友会本部と放送局に所属しており、学友会では委員長、放送局では主将をしています。課外活動への新型コロナウイルス感染症の影響は大変大きく、活動の制限はもちろん、勧誘活動も出来ませんでした。全ての課外活動に制限が掛かる中『分散して活動する』『短時間の活動をする』といった話はどの団体や組織でも出たと思います。

学友会の目立った活動は主にイベント系が多く、その殆どが行なえませんでした。活動が出来ない状態では勧誘も行なえなかった事から、人員についても複数の掛け持ちをする事になり、中々思うようには動けませんでした。イベントが行なえない中で私が出来る事は、次にイベントが出来る時に備えて様々な準備をする事でした。過去の活動を振り返ったり、新しく企画を考えたりして、2021年度は準備期間に充てる事にして今日まで活動して来ました。

一方、放送局では、活動自体が完全に一度停止しました。

主な活動の一つである収録をする際には、三密全てに該当する事から、活動制限中は、2人以下による部室の掃除が殆どでした。その後、個人でも活動が出来るように

ネットでの配信活動について調べて、集まらなくても活動出来るように考えました。緊急事態宣言やまん延防止重点措置が発令されていても感染のリスクが無いオンライン上での活動こそが、今、出来得る最大限の活動だと思っています。

新型コロナウイルス感染症により、学友会及びクラブ・サークル活動は一時は活動継続が困難な状態でしたが、徐々に活動を再開しており、2022年度には以前までとは言わずとも、活気ある課外活動が行なえるよう工夫と対策をしながら、取り組んで参ります。



人間社会学群4年次生：植戸健太さん

コロナ禍の影響で、学校内外での活動が制限されてしまいました。

稽古や他団体との交流の制限、部員全員が集まっていた稽古が出来ない期間もありました。しかし、レベルを下げる事なく活動を持続する為には、何が出来るかを考え、オンライン上でビデオ通話をしながら、各々の自宅で稽古を行ないました。道場と同じ環境ではありませんので、正座をして素振りを行なう、相手を想像しての素振りを行なう、体幹を鍛える等、最大限の工夫で対応しました。

全員での稽古再開後には、同じ目標を持った仲間が集まり、活動が出来る事が部活の強みであると再認識しました。道場での稽古は、出来る限りの感染対策を講じています。

特に、夏場の感染対策には苦勞しました。剣道は体に身に着ける防具が多い上にマスク・フェイスシールドを着用しての稽古

は、感染対策に加え、熱中症予防等の暑さ対策を同時に行なう必要がありました。稽古中の水分補給は、時間を決め徹底して行ないました。

コロナ禍で出場予定の大会の中止や、無観客対応・男女別の開催等の制限がありました。また、出場が決まってからも、接触機会を減らす為、出場選手しか稽古が出来ない事もありました。

監督や先輩方からの声援を受け、このような状況下でも剣道を続けられる事を感謝し、部員一丸となり成長する事が出来た一年となりました。

これからも、様々な工夫を講じて、各々新たな目標を持って活動に励んで参ります。



期待を胸に大学へ進学しましたが、待っていたのは新型コロナウイルスの感染拡大によるオンライン授業と自粛生活のスタートでした。アルバイトに行く事も、遊びに行く事も、まし

てや旅行するなんて全く出来ず、退屈だと思う日々でした。

そんな生活の中、高校時代からお世話になっている地元よさこい祭りのカメラマンさんや、友人がInstagramに投稿している写真を見て、「綺麗」「カッコいい」と思い、一眼レフカメラに興味を持ち始めました。

一眼レフカメラに興味を持てた事で、2つの発見がありま

看護学部3年次生：真塩萌加さん

した。

1つ目は、今まで撮影が難しかった夜景や自宅近くの風景写真が上手く撮影出来た時に気分が良くなり、自分の楽しみが増えた事。2つ目は、被写体になった時にどのようにすれば良い写真が撮影出来るかを勉強出来た事です。

今では、大学案内に掲載される被写体として撮影に参加させて頂いたり、所属している「志湧祭実行委員会」のInstagramやTikTokで日々の活動を更新したりするようになり、一眼レフカメラが自分の楽しみの一つとなりました。

スタートは思い描いた大学生活ではありませんでしたが、そんなコロナ禍で出会えた一眼レフカメラや友人のお陰で楽しみを見つけた事が出来、今では毎日が充実しています！

看護学部3年次生：真塩唯加さん

飲食店の「すき家」でアルバイトをしています。

新聞やニュースでもあったように、コロナ禍に伴い、アルバイト先が営業出来なかったり、再開してもアルバイトのシフトに入れない等で、収入が殆どなくなったという友人の話も沢山聞きました。私が働く「すき家」は、自宅近くにあり、大手企業で24時間営業の為、幸いアルバイトに入れない事もなく、収入がゼロになる事はありませんが、勤務する人数が減りアルバイト収入が安定するのはまだまだ厳しく、友人との食事や日々の交通費などに影響がある状況です。

しかし、大学で所属している「志湧祭実行委員会」で仲間と学べている事があります。出来なくなった事は沢山ありますが、今だから出来る事や、方法を変更すれば出来る事も沢山あるという事を…。

アルバイト事情も同じで、今だから出来る事はないだろうかと思

えてみました。考えた結果、私はお金の支出管理を始める事にしました。最初はノートで管理する事から始めましたが、なかなか継続する事が難しく失敗もしました。でも、日々継続して行なう事で自分らしい方法を見つけ、現在では支出を減らす事が出来始め、支出管理する事が楽しくなっています。

看護師になるという夢に向い勉強することはもちろん、大学生らしく遊ぶ事、やりたい事が「出来ない」ではなく、どうすれば「出来る」かを学べているので、大学生活が充実しています。



御退職教員



人間社会学群：名誉教授

梅澤知之先生

胡蝶の夢

私が姫路獨協大学に赴任したのは、1988年4月創立2年目の春の事でし

た。実は創設人事でしたので、そのだいたい前から大学と関わりを持っていました。1986年3月末、姫路駅前にあったホテルサンルート姫路で教員の顔合わせがあり、その後タクシーに分乗して、雨の降りしき中、まだ工事現場そのものの大学予定地に案内されました。翌87年4月に大学は開学し、その年の12月に、授業打ち合わせを兼ねて、初めて大学の姿を拝見しました。私としては初年度からの赴任でも良かったのですが、勤務先を持っている者は、2年目からにして欲しいとの事で、1年遅れの赴任となっていました。

外国語学部や法学部のドイツ語に始まり、主としてドイツ語圏文学・文化の講義・演習等を担当しました。最初は、学生とは年齢差もあまりなく、兄弟のようでしたが、そのうち学生は子供となり、今や孫と言ってもいいくらいです。ゼミ生とは、歓迎コンパ・追いコン、家族の事情が許す時には自宅で、実によく飲みました。夏休みには、一泊二日の卒

論・ゼミ論指導目的のゼミ旅行。2年に1度は、岡山県日生諸島の頭島と備前焼体験、合間の年には、家島・赤穂・生野・日生諸島の鹿久居島等を交互に訪れました。海外短期語学研修では、ドイツのGoethe-Institut（ゲーテ・インスティトゥート）へ学生達を引率しました。最初はプリーン・アム・キームゼー、後にボンです。ミュンヘン・ザルツブルク・ケルン・ノイシュヴァンシュタイン等への遠足。失敗もありましたが、実に楽しい思い出です。

私自身は、海外短期及び長期研修員として、2度にわたり、大学からイギリス・ドイツでの18・19世紀文学研究の機会を与えて頂きました。感謝しかありません。特に家族と共に過ごしたチュービンゲン大学は、今でも記憶が褪せる事はありません。

恩師から、「獨協学園が姫路に大学を新設し、ドイツ語学科ができる。学部長から名指しで来ている。名誉な事なので、ぜひ行きなさい」と言われました。当時、まさかドイツ語学科も、外国語学部もなくなるとは思いませんでした。赴任から34年が過ぎようとしています。文部省への申請から数えると40年弱です。善し悪しを含めて、つぶさに見てきました。夢かうつつか、まさに「胡蝶の夢」です。

退職に当たり、教職員・在籍生・卒業生並びに関係各位におかれましては、今までのご苦勞と経験を生かし、今後とも末永い御多幸と益々の御発展を祈るばかりです。姫路獨協大学に幸いあれ!

オオシマザクラ植樹

～三菱UFJ環境財団から～

この度、公益財団法人三菱UFJ環境財団から、同財団の環境保全整備事業の一環として、薬学部生態園にオオシマザクラの苗木50本を寄贈頂きました。

2022年3月2日(水)、薬学部生態園内において、株式会社三菱UFJ銀行姫路支店兼姫路中央支店長寺澤寛幸様・同副支店長富井拓磨様、柳澤振一郎学長・薬学部中村隆典教授により植樹式が行なわれ、同支店の皆様と学生・教職員ら約30名で植樹しました。



今回植樹を行なった生態園を含め、様々な植物に囲まれたキャンパスが、近隣の皆様を始めとする多くの市民の方々の憩いの場所となる事を願っています。



令和3年度姫路市大学発 まちづくり研究助成事業成果発表会に参加

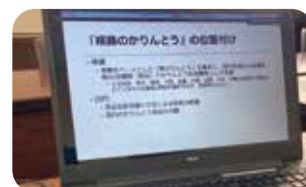
2022年2月21日(月)、姫路市役所にて、「大学発まちづくり研究助成事業成果発表会」が開催され、9グループのオンライン発表がありました。

姫路獨協大学からは、人間社会学群の「播磨のモノづくり研究会」と医療保健学部「安全な歩行を科学する運動研究会」の2グループが参加しました。

■ 播磨のモノづくり研究会 (代表:人間社会学群 岩谷洋史講師)

テーマ 姫路の「かりんとう」に対する多面的価値の創出に関する基礎的研究

研究内容 姫路の地場産品の一つである「かりんとう」のブランド化や付加価値を高める政策を立案するための基礎的な資料の提供



■ 安全な歩行を科学する運動研究会 (代表:医療保健学部 山本洋之教授)

テーマ 「歩行の見える化」で継続的な運動習慣の構築—実感できる健康づくり—

研究内容 高齢になれば転倒による寝たきりが心配になるもの、その対策としての体操と、歩いたらその場で歩行がグラフ化できる方法を用いて、体操前後での歩行の変化を参加者にもわかる形で可視化する方法の開発。

人間社会学群では、「QC」「カイゼン(改善)」の手法を学んでいます。

■ 授業の紹介

人間社会学群では、2016年に締結された姫路経営者協会との包括連携協定に基づき、同協会の協力を得て「社会人基礎力養成プログラム」が構成されました。また、同協会監修の元、企業等で行なわれている「QC(Quality Control=品質管理)」や「カイゼン(改善)」等の活動をベースにして学生がチームで問題解決に取り組み、「テーマの選定」「現状把握」「目標値の設定」「要因分析～特性要因図～」「対策の検討と実施」「効果の確認」「標準化と管理の定着」の手順である『問題解決手法(QCの手法)』を学んでいます。

カリキュラムは、「人間社会演習Ⅱ」(1年次後期)、「プロジェクト演習」(2年次通年)、「フィールドワーク」(3年次通年)で編成されています。

「フィールドワーク」では、『問題解決手法(QCの手法)』を用いた地域の課題解決をテーマに取り上げ、課題解決を通じて、地域に貢献するとともに、学生の課題解決力を涵養する事を授業科目の目的としています。

■ QCサークル兵庫地区発表大会において「感動賞」を受賞

2021年11月12日(金)、人間社会学群の学生グループが、QCサークル近畿支部主催の「第6286回QCサークル兵庫地区発表大会」において、「高田家のお正月休みを守れ!!～れんこん出荷作業の改善～」をテーマに発表を行ないました。

兵庫地区発表大会は、コロナ禍の中、初のリモートライブ形式で、兵庫県内企業から7つのグループが発表を行ない、本学学生グループは、その内の1つとして参加しました。

学生達は、2020年度「フィールドワーク」で取り上げた「たつの市のれんこん農家の栽培・収穫 出荷の作業にある問題」を、QCの手法を用いて浮き彫りにし、解決へと至る過程について発表しました。

大会参加者による投票により、本学学生グループは、「感動賞」を受賞しました。



■ 学生のコメント

- 2年半に亘って学んだ問題解決の手順で発表する機会を頂き、大変嬉しかったです。感動賞まで頂けるとは思っておらず、大変驚いています。
- 社会人の発表は、専門用語等の難しい面もありましたが、問題解決の手順の基本的なプロセスは、授業で学んだ事と同じであると思いました。
- 2年半の一連の経験は、人とコミュニケーションを取る際の強みになると実感しました。
- 伝えることの難しさを知りました。リアリティを持たせて伝えられるよう、早口にならない事・活舌に注意する事等、話し方にも気を配る必要がありました。
- 社会人の方に交じっての発表は困難を伴いましたが、メンバーにとって良い経験になりました。貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

外国語フェスティバル

●第2回韓国語作文コンクール開催

人間社会学群教授:文春琴先生

2021年度もコロナ禍の影響で恒例の韓国語弁論大会の開催が難しくなり、余儀無く昨年度に続き、作文コンクールを開催する運びになりました。

「私と韓国語」または「自由テーマ」で12月10日までの応募原稿を審査した結果は右の通りですが、参加者全員が日々鍛えてきた韓国語で素晴らしい作品を応募してくれました。

受賞者には各々、賞状と副賞の図書カードが授与されました。参加者全員にもコロナ禍を乗り越えるエールとして図書カードが配られ、同窓会からも応援の図書カードが贈られました。



【審査結果】

最優秀賞

日比麻理乃「言語は文化」

優秀賞

寅野舞衣子「私の趣味」

盛田若愛「私の愛しい鳥たち」

松本優希「私と韓国語」

守屋奈保「私と韓国語」

敢闘賞

小谷正文「高校野球」

高島琴奈「2019年8月の追憶」

富士井媛琴「一度口にした言葉は決して曲げない」

三輪文花「似て非なるもの」

氏房奈保「私と韓国語」

小原紫陽花「私の韓国語」

●2021年度中国語弁論大会実施の報告とお礼

人間社会学群教授:田村祐之先生

毎年12月に開催して来た、人間社会学群国際言語学類・外国語学部主催の中国語弁論大会ですが、昨年度は新型コロナウイルス流行により、残念ながら中止しました。今年度は、感染防止の為、Google Classroomへの動画投稿方式で実施、審査もGoogle Classroomで行ないました。

今回は「ビギナー部門」(大学入学後に中国語を学び始めた人が対象:朗読・弁論

の部)と「ベテラン部門」(大学入学以前から中国語を学んで

いた人、日常生活で中国語を使っている人が対象:弁論の

部)に分けて参加者を募集しました。参加者には11月末日までに動画を投稿して貰い、12月10日に審査員(中国語教員3名)による審査を終えました。

日頃の学習の成果を披露した各部門の入賞者は左の通りです。カギ括弧内は朗読の課題文および弁論の題目です(字体は日本の常用漢字にしました)。

また、入賞者には、同窓会より頂いた同窓会賞を後日授与させて頂きました。本弁論大会の開催を御支援頂き、誠にありがとうございました。



《ビギナー部門朗読の部》

第1位 中嶋理咲「山行」「涼州詞」

第2位 山根大我「送元二使安西」「早發白帝城」

第3位 馬場未来「楓橋夜泊」「山行」

《ビギナー部門弁論の部》

第1位 今井大翔「中国広東東的生活状況」

第2位 栗岡巧暉「辣!辣!」

第3位 南光拓真「日本餃子と中国餃子の比較」

《ベテラン部門弁論の部》

第1位 張峰「来日二三事」

第2位 倪曄「我最愛的外婆」

第3位 阿部美加「私が中国で過ごした経験」
(弁論内容は中国語)

フードドライブ活動に取り組んでいます。

2021年6月、「姫路企業ボランティアネットワーク(通称:Vネット)」が、フードドライブ活動を推進する為、Vネットの各会員企業に設置するフードバスケットが準備される事になりました。それで、姫路市社会福祉協議会から姫路獨協大学学生団体「COLORS(カラース)」に対して、「フードバスケット」のデザイン制作依頼があり、4点のデザインが採用されました。

学生がこのデザイン制作に携わった事をきっかけに、「活動したい」という思いを形にし、2021年11月8日(月)~12日(金)の5日間、学内でフードドライブ活動が行なわれました。

学生団体からの報告によると、学生47名・教職員66名の協力があり、食品434点及び玄米・精米72kgが集まったとの事です。フードドライブ活動の実施日まで、食品ロスの現状や課題等を告知していた事もあり、学生自らの食品ロスに対する関心を高めるに至ったはずです。

フードドライブ活動を運営した学生は、「5日間と言う短



期間でしたが、学生・教職員の皆さんから多くの食品提供を頂き、本当にありがとうございました。フードドライブ活動を継続し、今後は地域の方々にも参加頂き、食品ロス削減の重要性を拡散したいと思います。」と語ってくれました。

集められた食品は、11月15日(月)、学生がNPO法人フードバンクはりまに届けました。

次回は、2022年5月17日(火)・18日(水)の二日間を予定しています。詳細は大学HPでお知らせ致します。

阪神大学野球連盟 2021年度 春季リーグ戦【2部】優勝 (人間社会学群4年次:庄野憲人さん)



硬式野球部キャプテンの庄野憲人です。

2021年の春のリーグ戦で優勝出来、素直に嬉しかったです。しかし、この時、僕はベンチに居て試合に参加する事しか出来ませんでした。

優勝後、前キャプテンの山口さんとお話をさせて頂きました。まず、最初に「ホッとした」と仰っていました。大事な試合を落としたりして、優勝を逃していたからだそうです。優勝出来るチームにする為には、練習の質から変えて行く事を始められたそうです。

優秀な先輩である山口さんの後にキャプテンをするのは、正直、荷が重かったです。しかし、山口さんが引退される時に、「自分のやり方で、自分の好きなようにチームを作れ」と声を掛けて頂きました。その言葉で少し楽になり、次のリーグ戦も優勝出来るように活動しています。

春のリーグ戦は開幕しました。しかし、新型コロナウイルスの感染状況は、予断を許さず、満足に練習が出来ていない日々が続いています。それは、2021年の春も同じでした。

不十分な練習を嘆くより、モチベーションを保つ事が重要です。それは仲間の存在が大きな部分を占めています。仲間同士でコミュニケーションを取り、何とかモチベーションを維持しなければ、もう一度優勝する事は出来ません。春2連覇出来るのは僕達しか居ません。残り少ない練習期間を日々大切に、リーグ戦に望みます。

先輩方、応援下さいますよう、よろしくお願いします。

同窓生からのお便り

学生時代は、楽しい思い出しかありません。

茶道部に所属していましたが、文化会の役員で、会計を担当していました。楽しんで頂ける獨楽祭の開催に向け準備を進め、自らも楽しく活動していました。その後、オープンキャンパスのスタッフにもなりました。

2年次には、有志で集い、仲間や先生方も巻き込んだクイズ大会を開催しました。そして、主催者・スタッフとして上下の繋がりが出来た事が何よりの財産だったと思います。

学生時代、姫路獨協大学は、学び舎というイメージではなく、集いの場としての意味が大きかったと思っています。

充実した学生生活を送っていた為、就職活動は遅めのスタートであったと思います。また、就職試験の直前に、交通事故を起こしてしまい、本

格的なスタートは夏以降となりました。しかし、場数を踏み、10社目で現在の就職先に辿り着けました。通勤時間が短く、資格取得に向け充実している事から、現在は、福岡インター自動車学校で、実習指導員として勤務しています。交通事故の禍が転じ、経験が糧となりました。

本来、人見知りではありますが、学生時代に培った人間関係の充実が、現在に活かされています。大学時代は、宝の山でした。



経済情報学部2015年3月卒
長濱亮文さん

福岡インター自動車学校
HP : <https://fi-cs.jp>



外国語学部2003年3月卒
名田有佑さん

大学時代には、沢山の出会いがあります。高校時代とは違い、色々な地域から集まった同級生や先輩方・後輩。外国語学部では、海外からの学生もおられ、沢山お話をさせて頂き、刺激を受けました。大学生らしく遊んだ事も、今思えば良い思い出です。

先生方も個性豊かで、音楽を取り入れたり、映画

や詩を用いた授業等が大変印象に残っています。特に映画の授業には影響を受け、よく映画館に通った思い出があります。また、苦手な授業で先生に興味のある事を問われ、「野球」と答えた私の為、イチロー選手を授業に取り入れて頂き、助けて頂いた思い出も…。

中でも一番の思い出は、3回生の時にラジオ局で働く機会があり、新たな目標を見付け没頭した事です。ADとして実際

に番組に携わり、未知の世界に夢中になっていました。ただ職場が神戸である事、時間帯が授業と重なる事で、休みがちになってしまった時期もありました。そんな時にゼミの先生に呼ばれ、怒られる覚悟でしたが、時間を割いて話を聞いて下さり、「やりたい事が見付かったのなら、やったほうが。それが出来るのが大学生だよ」と応援して頂いた事は本当にありがたかったです。

現在は姫路市内でœufs(ウッフ)という店を経営しております。焼菓子や洋菓子を中心に、店内でのランチやカフェ等も提供しております。現在の職に移る際も、大学で偶然ゼミの先生とお会いし、親身にお話を聞いて頂き、温かい言葉で背中を押して頂いた事は、今日まで仕事を続けてこられた原動力です。

ご飯とお菓子 œufs

〒671-1255 姫路市網干区垣内南町1512
TEL : 079-290-9088



Facebook



Instagram

1994年から1997年まで、イベントサークル「チームブレス」として活動していました。在籍当時は、先輩方が立ち上げた「ファニーフェイス」や「ノーティーフェイス」等のイベントサークルが多々ある中で、私達も新メンバーを増やそうと、毎年、春は新入生歓迎コンパ、夏はキャンプ・旅行、冬はクリスマスパーティーと、約4年間、たくさんの時間と労力とお金を費やしました。

そんな私達にとって、毎年1月3日は特別な日です。卒業翌年の1998年から24年間、1年も欠かす事なく姫路に集まる事が出来ています。そのきっかけは、政治学の徳本正彦教授でした。ゼミコン時、教授の大学生時代のエピソードを聞かせて頂く中で、「私達には、毎年この日に行けば、自ずと同級生が集まってくる場所がある」と…。そのお話を伺い、心の底から羨ましく、私達もそうでありたい!と感じた瞬間は、今でも鮮明に覚えています。

コロナ禍まではメンバーとその家族全員が参加していましたが、近年はリスクヘッジの観点からメンバーのみの参加としています。今年も関東・四国・近畿等、遠方のメン



法学部1997年3月卒
中野勝史さん

バーも来てくれ、濃密な時間を過ごす事が出来ました。

私達にとってかけがえのない四半世紀のきっかけを作って頂いた徳本教授には毎回感謝しています。



経済情報学部2004年3月卒
大橋昌浩さん

2004年に経営情報学科を卒業しました大橋昌浩です。今現在、柔道整復師・鍼灸師として整骨院で働いております。

学生時代、硬式野球部に所属し少しでもチームの戦力になれるように切磋琢磨していましたが、怪我や故障が多く満足にプレーする事が出来ず、迷惑を掛ける事が多かった事を思い出します。その怪我や故障の経験が、今の仕事を指そうと思ったきっかけでもあります。

資格取得後、揖保郡太子町にある『株式会社健浩堂/おはら整骨院』に入社し、10年間勤めさせてもらった後、

2021年7月に姫路市余部区に会社の分院として『おおはし整骨院』を開院し、地域の健康寿命を延伸する為に院長として日々頑張っております!また、休日は姫路獨協大学硬式野球部のトレーナーとしても活動させて頂いています。

今の仕事に至るまで、勉学に費やす時間も多かったのですが、姫路獨協大学での学生生活や部活動、アルバイトで出会った人達から、社会人としての在り方や考え方等多くの事を学び、今の私があると思っています。

新型コロナウイルスの影響で多くの人が健康に対する考え方が変化し、運動やスポーツを始める人が増え、健康に対して関心を持つ人も増加しています。痛みが出ない健康なカラダ作りのお手伝いをする事で、活気があり元気な町になるように頑張っております。

施術 × 運動 = 動けるカラダを作る整骨院

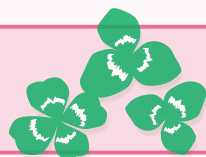
受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:30	○	○	○	△ 第2・4休み	○	○	×
15:00~19:00	○	○	○	×	○	○	×

おおはし整骨院

〒671-1261 姫路市余部区下余部381-1
TEL : 079-258-7252
HP : <https://ohashiseikotsuin.com>



Instagram



キャンパス散策



「獨協学園 姫路医療系高等教育・研究機構(はり姫サテライト)」開設

Dokkyo Gakuen Himeji Institute for Medical Education and Research:DIMER

～兵庫県立はりま姫路総合医療センター教育研修棟内に教育・研究の新拠点～

2022年5月1日、獨協学園は、「兵庫県立はりま姫路総合医療センター(愛称:はり姫)」の開院を機に、教育・研究の更なる発展を目指して、「獨協学園 姫路医療系高等教育・研究機構」(獨協学園 はり姫サテライト)が開設されます。



左:教育研修棟 右:県立病院



教育研修棟

教育・研究の新拠点

2017年5月兵庫県及び姫路市と獨協学園は、高等教育・研究機関と新県立病院の整備に関する協定書を締結し、キャスト21イベントゾーンへの高等教育・研究施設の開設を準備して来ました。

「獨協学園 姫路医療系高等教育・研究機構」(獨協学園 はり姫サテライト)は、兵庫県立はりま姫路総合医療センター教育研修棟4階・5階に、姫路獨協大学の文理にわたる学群・学部高学年のサテライトキャンパスや大学院研究科・獨協医科大学大学院姫路サテライトを開設し、医療に関わる幅広い研究や教育を行ないます。

JR姫路駅から約800メートル東に位置し、「兵庫県立はりま姫路総合医療センター(愛称:はり姫)」・「獨協学園 はり姫サテライト」までの道のりは、歩行者デッキで直結されています。

祝 御卒業・御修了



この春も、後輩が学び舎から巣立ちました。

2022年3月16日(水)に、アクリエひめじにて、卒業式・学位記授与式が挙行されました。

これで、在籍生は獨楽会の正会員となりました。



アクリエひめじ:姫路市文化コンベンションセンターは、2021年9月に開館しました。新たな一步を踏み出す格好の会場であったと思います。

ただ、今年度は、コロナ対応の為、来賓の方も限られ、保護者も同席出来なかった事…。そして、何よりも、卒業記念パーティを開催してのお祝いが叶わなかったのは、残念でなりません。

獨楽会は、素敵な一步を着実に前進頂けるようサポートしたく存じます。

ファミリー専願入試

合格者には、合格時点で「ファミリー制度」が適用され、支援金が支給されます。

条件としては、以下の条件を満たす者で、合格した場合に必ず入学する事を確約出来る専願者を対象とします。

- ① 学業成績・人物ともに優れ、学校長が推薦する者
- ② 2親等以内の親族が本学を卒業・修了、もしくは、本学に在籍中の者
- ③ 以下のいずれかを満たす者
 1. 高等学校又は、中等教育学校を卒業した者、及び2023年3月に卒業見込みの者
 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び2023年3月に修了見込みの者
 3. 学校教育法施行規則第150条第2号・第3号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者

《詳細は、大学のHPの「受験生応援サイト」にて、御確認下さい。》

問い合わせ先 入試センター 電話:079-223-6515

ファミリー制度支援金支給について ～入学した年度に限り20万円が支給されます～

姫路獨協大学において学業を奨励し有為な人材の育成に資することを目的として、姫路獨協大学を卒業・修了又は在籍している者の子女等に対して「ファミリー制度支援金」が支給されます。

姫路獨協大学の卒業・修了者又は在籍者の2親等以内の親族で、かつ学群若しくは学部・大学院の入学者・編入学者・転入学者で、入学手続時に所定の手続きにより申請した方が、ファミリー支援金支給対象者です。

問い合わせ先 学生課 電話:079-223-6505

FROM獨楽会

召集のお手伝い致します！

同期会・ゼミ会・OBOG会の招集は、お困りではないですか？

獨楽会では、会員間の取次サービスを行なっております。召集のお手伝いは、お気軽に、事務局までお問い合わせ下さい。詳細は、獨楽会HPにて、御確認願います。

また、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催に当たり、獨楽会では、支援を致しております。こちらも、お気軽に、お問い合わせ下さい。

問い合わせは

獨楽会事務局 <https://www.hdud.gr.jp/>

獨楽会からの発信！

大学情報等、Facebookを通じて、御紹介しています。獨楽会サイトも、**リニューアル**致しました。

同期会・ゼミ会・OBOG会等の告知でも、御利用頂ければと思います。

同窓生の皆様方の拠り所として、是非、獨楽会を御活用下さい！

獨楽会からのお願い

◎求む！同窓会運営委員

同窓会の運営をお手伝い頂けませんか？

2か月に1度のペースで、運営委員会を開催致しております。御協力、よろしくお願い致します。

○会報への寄稿

同窓会報への寄稿、お待ち致しております。

近況報告はもちろん、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催等、何でも、寄稿頂ければと思います。

◎御注意を！：獨楽会では、名簿業者との提携はしていません！

獨楽会や大学関係者を装い、同窓生の皆様に問い合わせや勧誘があるとの旨、お知らせを頂きます。電話による各種調査も一切実施致しておりませんので、不審な問い合わせ等がありましたら、事務局まで、お知らせをお願い致します。

○住所変更について

転居・住居表示等の変更、また、就職・転職をなさったら、事務局までお知らせをお願い致します。

頂いた情報は、キャリアセンターとも協力して、後輩の就職活動に、役立たせて頂いています。確実に、同窓会報をお届けする為にも、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

こんなにCOVID-19に関わる特集を進める心積もりはありませんでした。本来であれば、同窓生の皆様方にお知らせすべき事があるのではないか…と思っています。母校は何処に向かうのか？見守りたく存じます。(姫獨協子)

第26回

2022年度 同窓会総会

日時 2022年6月26日(日) 11:00~(受付:10:30~) 会場 講義棟205B教室

今年度も、大学にて同窓会総会を開催致します。

当日は、志湧祭の開催予定日です。是非、御参集下さいませ。

右記のQRコードにて出欠の確認をお願い致します。

万障繰り合わせての御参集、よろしくお願い申し上げます。

近況報告もお願いしたいので、欠席の場合でも、サイトに訪れて頂ければと存じます。

まだ、COVID-19の余波を受けなければならない状況で、卒業記念パーティーも叶いませんでした。

新たに獨楽会正会員となった皆様方には、名刺交換会のつもりで母校に戻って来て頂ければと思います。



情報拡散、大歓迎

問い合わせ先

姫路獨協大学同窓会：獨楽会 〒670-8524 姫路市上大野7-2-1

E-mail: honbu@hdud.gr.jp

6月26日(日)
志湧祭開催

2022 オープンキャンパスのお知らせ

来校版 2022年6月25日(土)・7月24日(日)・8月6日(土)・8月20日(土)・9月4日(日)

オンライン版 2022年7月20日(水)・7月21日(木)・7月22日(金)・8月5日(金)・8月19日(金)

2022年のオープンキャンパスは、事前申込制で実施し、**来校版**と**オンライン版**の日程を分けて開催します。ヒメドク
フェスタ
開催

学生スタッフが運営します。学生スタッフに受験に対する悩みや進路相談、入学後のキャンパスライフについて直接訊いてみませんか？

パンフレットだけでは解らない「本音」や「疑問」を学生スタッフが为您解答します！

詳細は、大学HPの受験生応援サイトで御確認ください。
<https://www.himeji-du.ac.jp/opencampus/2022>

受験生応援サイト

問い合わせ先

入試センター電話：079-223-6515

獨協講座 受講生募集! ~2022年度 春・夏~

姫路獨協大学は、地域の皆様の学びの場として、「獨協講座」を開講致しております。人間社会学群・医療保健学部・薬学部・看護学部の教員らによる「外国語講座」・「教養講座」・「健康講座」等の幅広いジャンルの講座を取り揃え、皆様の興味や知的好奇心にお応え致します。

卒業生・修了生の皆様は、受講料が1割引となります。多くの皆様の御参加をお待ちしております。

申込締切日

春講座:5月16日(月) 夏講座:6月16日(木)

問い合わせ先

【地域連携課】TEL:079-223-9258 FAX:079-285-0352



講座会場・時間・受講料等の詳細は、地域連携課にパンフレットにて御確認下さい。大学HPの「公開講座」でもパンフレットが御覧頂けます。

10月開始の秋・冬講座は、9月上旬頃、HPに公開されます。

「公開講座」
はこちら